

バラスト軌道における浮きまくらぎの検出と線路保守実務への応用に関する研究

楠田, 将之

<http://hdl.handle.net/2324/4110582>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	楠田将之			
論文名	バラスト軌道における浮きまくらぎの検出と線路保守実務への応用に関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	園田佳巨
	副査	九州大学	教授	松田泰治
	副査	九州大学	准教授	大枝良直

論文審査の結果の要旨

本論文は鉄道のバラスト軌道に発生する浮きまくらぎ箇所の検出方法と浮きまくらぎが軌道の座屈安定性に与える影響について検討を行ったもので、線路保守の実務に供用可能な浮きまくらぎ検出方法を開発しており、構造工学および鉄道工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。